

**JASDAQ**

2018年9月18日

各 位

会 社 名 マックスバリュ九州株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 佐々木 勉  
 (コード番号：3171 JASDAQ)  
 問 合 せ 先 執行役員管理統括部長兼経営管理部長  
 篠崎 岳  
 (電話番号 092-433-1228)  
 当社の親会社名 イオン株式会社  
 代 表 者 名 取締役兼代表執行役社長  
 岡田 元也  
 (コード番号：8267 東証第1部)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2018年4月11日に公表した2019年2月期第2四半期累計期間(2018年3月1日～2018年8月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

2019年2月期第2四半期(累計)業績予想数値の修正(2018年3月1日～2018年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円/銭
前回発表予想(A)	89,000	1,000	1,000	400	52.96
今回修正予想(B)	88,500	1,100	1,100	590	78.05
増減額(B-A)	△500	100	100	190	
増減率(%)	△0.6	9.1	9.1	32.2	
(ご参考)前年同期実績	87,327	595	604	382	50.71

#### 2. 修正の理由

売上高については、既存店は比較的堅調に推移したものの、新店計画の遅れ等が発生し、わずかながら見通しを下回る見込みです。

営業利益、経常利益については、売上高が堅調に確保できたことに加えて、在庫圧縮効果による商品見切り、商品廃棄が減少したことで荒利益率が改善し、荒利益高を確保できたことにより、計画を上回る見通しとなりました。

さらに、四半期純利益につきましては、当初店舗減損損失の発生を懸念しておりましたが、当該店舗の業績が堅調に推移し、計画を上回る見通しとなりました。

なお、2019年2月期の業績予想につきましては、他の要因を含め修正が必要と判断される場合には、速やかに開示いたします。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって業績予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上